

第2回戦後80年・我孫子市平和都市宣言40年記念平和事業運営委員会 会議概要

1. 開催日時

令和7年2月8日（土）15時～16時45分

2. 開催場所

我孫子市役所分館1階大会議室

3. 出席者

（1項委員）桑原会長、高須副会長、石井委員、北嶋委員、見城委員、

早乙女委員、根本委員、早坂委員、的山委員、山田(典)委員

（2項委員）稲見委員、植田委員、菅委員、桐山委員、高橋委員、肥後委員、舟木委員、

山田(恒)委員、吉田委員

（事務局）大山課長補佐、山田係長、鈴木主任、稲垣主任

4. 傍聴人

1名

5. 議事

（1）開会

桑原会長から全体の挨拶を行った。

また、事務局配布資料により、部会長等の変更について確認した。部会の構成は次のとおり。

①事業部会

北嶋委員（部会長）、早坂委員（副部会長）、松丸委員（副部会長）、

赤羽根委員、稲見委員、桑原委員、早乙女委員、舟木委員、的山委員

②広報部会

石井委員（部会長）、高橋委員（副部会長）、桐山委員、見城委員、根本委員、

森委員、山田(恒)委員、山田(典)委員、

③普及部会

山元委員（部会長）、佐藤委員（副部会長）、肥後委員（副部会長）、

石坂委員、植田委員、菅委員、高須委員、吉田委員

（2）協議事項

1) 我孫子市平和事業について

各部会から進捗状況の報告を行った。

① 事業部会より(北嶋部会長)

- ・「平和のうた」の作成について、各委員の皆さんに1月末までで歌詞をお願いしていたが、本日提出できる方がいれば出していただきたい。
- ・8月16日に被爆伝承講話を予定している。また、同日、アビスタで灯ろうを作成、手賀沼親水広場のじゃぶじゃぶ池に流す方向で調整中。小学生低学年から中学年の子もたちが参加できるコンテンツが少ないので、アビスタミニホールで何かできればと考えている。
- ・平和スピーチ大会は国際交流協会と共催で実施する方向で調整中。
- ・ほかに検討中の事業をいくつかあげているが、この中からできるものを進めていくことになっている。

② 広報部会(石井部会長)

- ・小冊子については、根本委員を編集長としてお願いしている。4月末を目安に内容の概略を決定、9月末初稿完成、12月末校了、3月末配布準備の予定。
- ・SNSについては、アプリ選定できれば、臨時部会などを開催して実際に操作してみる予定。
- ・展示については、実施時期が確定していない状況ではあるが、スケジュールを含め、5月までに展示物編集、展示場所、レイアウトを検討していきたい。

③ 普及部会(高須副会長)

- ・小学生向けのリレー講座については、広島や長崎だけに関する内容から広げていきたいというところで検討している段階。
- ・中学校向けのリレー講座もしくはそれに類似するものとしては、派遣中学生がしっかりそれぞれの中学校で報告できるような場をつくることで活動のPRにもつなげていきたい、ということを考えている。
- ・ワークショップとしては、缶バッジ作成や紙芝居、絵本の読み聞かせといった案が出ており、8月16日の事業の際に一緒にできればと考えている。

— 委員からの意見 —

<「平和のうた」について>

- ・ 早乙女委員を中心に歌づくりを進めていく予定である。ほかの部会の方でも、歌づくりに携わりたいという方がいればぜひ教えていただきたい。（北嶋部会長）
- ・ できれば、平和事業推進市民会議委員全員に最低でも1つはフレーズを出していただきたい。（早乙女委員）
- ・ CDなどの音源化はどのようになるか。（山田恒委員）
- ・ 合唱曲の作成は可能か。どのように取り扱っていくのか決まらなると活用に向けても検討が進まない。（的ん山委員）
 - 事業部会の意向を確認して進めていきたい。（事務局）
 - うたの扱いについては、学校が作曲家に依頼して作った校歌があるので同じように考えられると思う。部会内ではそのイメージの共有をしたい。また動画の案も出ているので、いろいろなご意見をいただきたい。（北嶋部会長）
- ・ 我孫子市から全国に取組を発信する素晴らしい機会だと思うので、多くの方に聞いていただけるようにしたい。（山田典委員）
- ・ 著作権の関係など、権利関係は事務局でしっかり押さえていただければ良いと思う。（山田恒委員）

<語り部との交流について>

- ・ 伝承講話を予定されているが、子どもが参加できるような内容のものを当日ほかに企画できる余地があるか。（的ん山委員）
- ・ アビスタのミニホールも使用可能なので、部会横断的に分担して実施したいと考えている。（北嶋部会長）
- ・ アビスタ内でいろいろな企画を行うという考えは良いが、分散してしまって大丈夫か気がかりである。（山田恒委員）
- ・ 子ども達とその保護者を対象にと考えると、語り部との交流は敷居が高い。そういった意味で、子どもたちに対しては缶バッジの作成などを設定すれば、方向性が分かれて良いのではないかと思う。（高須副会長）
- ・ 市のほかのイベント、子どもたちはどういったイベントに惹かれてくるのかを分析してみても良いのではないかと思う。（高橋委員）

<小冊子の発行>

- ・ 現状は紙媒体で考えているということで良いか。（肥後委員）
- デジタル化という声も上がっているが、それについては課題があり、別途検討している。制約があるということは確認しているので、結果をご報告する。（石井部会長）

<SNS>

- ・ SNSはどのような媒体を考えているか。（桑原会長）
- X（旧Twitter）、インスタグラム、YouTube、Facebookといったメジャーなところをメインに検討している。（石井部会長）

<展示>

- ・ 平和の集いで展示したものなどを活用しても良いのではないか。(的山委員)
- ・ 近隣センターの情報を教えていただきたい。(山田恒委員)
- 近隣センターは市内11か所。フリースペースでの展示であれば、市を通して各まちづくり協議会に依頼という形になると思う。(事務局)
- ・ あびこショッピングプラザでのパーティション使ったの展示は試みとして良かった。許可等はどのようにすればよいのか。(見城委員)
- 市が協定を結んでおり、現在は無料で使用させてもらっている。このことについて、広報部会長へは情報を共有しており、ほかに無料で使用できる場所の確認希望などがあれば事務局で対応する。(事務局)
- ・ 展示に受付の配置は想定しているか。(桑原会長)
- 現時点では想定していないが、検討して必要であれば協力をお願いしたい。来場者数などはシールを貼る形で確認しても良いかと考えている。(石井部会長)
- ・ パネル展示について、若い世代が近隣センターに行く機会はあまりないかと思うので、図書館や学校などに展示してはどうか。(肥後委員)
- 検討していきたい。(石井部会長)

<リレー講座>

- ・ リレー講座で葉っぱに書いたことを実行に移せているか考える、という内容を中学校や高校でできたら良いと思う。(的山委員)
- ・ 派遣中学生は派遣後に全校集会で発表するというところを行っているが、ただ聞くだけではなく、生徒側が能動的に考えられるように変えていければ良いと思う。(早乙女委員)
- ・ 中学校にリレー講座を取り入れていただくのはカリキュラム的に難しく、まずは、報告会をしっかりと実施していただくこと、中学生が考えたことを言えるようにできないかということを普及部会の中で検討している。(高須副会長)

<ワークショップ>

- ・ 缶バッジ作成であれば、小さい子どもも参加していただけるのではないかと考えている。(肥後委員)
- ・ 8月16日の事業でアビスタと一緒に使ってもらえればと思う。情報共有しながら進めていきたい。(北嶋委員)

<平和事業のアピール>

- ・派遣中学生がその後何をしているかを知らない人もいるので、平和事業を市民の皆さんに知っていただきたいというのがある。我孫子駅に掲示できるスペースがあるので、活用できないかなと考えている。（吉田委員）
- ・被爆地派遣について、行く前や行った後の報告、リレー講座の活動などを学校の全生徒に伝える媒体があれば良いと思う。（早乙女委員）
- ・検討しているSNSのほうの方が若い世代に見てもらえるので、つなげていければと思っている。（山田恒委員）
- ・市は小中一貫教育を進めているので、平和についての学びを深めていただけるよう教育委員会と話しても良いかと思う。（北嶋部会長）
- ・派遣中学生のPR動画を作成したり、中学校で給食の時間に派遣中学生や元派遣中学生がコラボして放送したりという取組も良いのではないか。（根本委員）

2) その他

なし

(3) 閉会

会長から、終了後に部会に分かれてワーキングを実施することについて発言があった。

傍聴人発言 あり

以上